



児童も職員も地域の方も来たくなる学校を

令和6年度 えりも町立庶野小学校 グランドデザイン

北海道教育推進計画基本理念

自立 共生

3本の施策の柱と22の施策

日高管内教育推進の重点

- 1 子ども一人一人が資質・能力を確実に身に付ける教育の推進
- 2 子どもの学びを保障し、質を高める環境の確立
- 3 子どもの成長を支える連携・協働の推進

目指す学校像

児童も職員も地域の方も来たくなる学校

えりも町教育行政執行方針

今日の時代に対応する「知・徳・体の調和のとれた教育」

- 1 「生き抜く力」を育む学校経営
①学んだ力と学ぶ力を重視した授業改善
②よりよい人間関係を築く学校経営
- 2 幼小中高の接続と学びの連続
- 3 個の進路実現を目指すえりも高校

学校教育目標

かしこく
あかるく
たくましく

目指す児童像

- (知) 自ら学んで頭が回転が速く、勉強ができる子
- (徳) 優しい心をもっていじめが無く、チャレンジする子
- (体) ちゃんとご飯を食べ、体力つけて元気で健康な子

目指す教師像

環境の変化を前向きに受け止めて学び続け、児童の主体的な学びを支援する伴走者となる教師

学校経営の重点(研究主題)

主体的に学び合い、自分の考えを表現できる児童の育成
～ICT機器を活用した対話的な学びの工夫～

基本方針

- 1 SDGsを推進し、持続的で魅力ある学校教育の実現
- 2 自分の権利も他人の権利も守る人権教育 いじめ0に向けた取組
- 3 家庭学習と連動し、ICTを常時活用した基礎学力を保障する授業改善
- 4 教育環境、職場環境の速やかなる改善(心理的安全性の構築維持)
- 5 ふるさとを誇りに感じることができる教育活動の充実
- 6 幼小小中の連携強化(架け橋期カリキュラムの推進)

家庭

- ・家庭教育の啓蒙
- ・PTA活動の充実
- ・家庭学習の取組

地域

- ・地域学習の連携
- ・学校が地域にできること
- ・庶野ひまわりの会との交流

学校運営協議会 えりも型地域学校

家庭・地域と共にある学校

昨年に引き続き、ご家庭の取組と地域の取組を土台とさせていただき、大きな青い部分は、学校が1つの家であるということと、「目指す学校像」「目指す児童像」「目指す教師像」に向かう矢印という、2つの意味を表しました。学校自体が1つの家族のように、あたたかさとしなやかさを兼ね備えて育てていくという想いを込めました。

また、「目指す児童像」は昨年度末に児童会書記局が中心となって作りました。自分たちが目指したいもの、庶野小学校がどうなっていくのかなど、全校から意見を集めて考えてくれました。自分たちで作った目標に向かって、どんどんチャレンジしながら取り組み、どんどん自分を超えを達成して欲しいと思います。ご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。